

特集1

こんにちは、 ムーバスです

—運転士と地域の人みんなで歩む、まちの足—



全国に先駆けて、コミュニティバスが走った武蔵野市。丸みを帯びたコンパクトな車体で狭い道でもスイスイ走るムーバスは、たちまち“市民の足”として浸透していきました。今年30周年を迎えるムーバスの、知っているようで知らないあれこれについてご紹介します。

Q. ムーバスは
どうしてできたの？

A. 足が弱ってしまった高齢の
市民からの「バス停が遠く
で駅まで行けない」と書かれた1通
の市長への手紙がきっかけでできた
んだよ。高齢者が健康的に活動でき
るよう、まちに出やすい移動手段を
整備する必要もあったんだ。

Q. どうしてバス停と
バス停の間が
近いの？

A. 高齢者が無理なく歩
ける距離を調査して、
200m間隔を基準にバス停
を設置したんだよ。

Q. ムーバスの
名前の由来は？

A. 武蔵野の「ム」と「Move-
us（私たちを一動かす、
感動させる、…する気にさせる）」
という意味とが掛け合わされてい
るよ。282件の公募の中から選ば
れたんだ。

運転士さんに 聞いてみた！

—ムーバスが走るわけ—

ムーバスが運行開始して30年になります。今や暮らし
に欠かせないムーバスですが、皆さんはどれだけムーバ
スのことを知っていますか？ どうしてムーバスは誕生
したのか、どうしてコンパクトなサイズなのかなど、

ムーバスのトリビアを運転士さん
に教えてもらいました！

小田急バス指導運転士
服部浩二さん

Q. どうして大きな
バスじゃないの？

A. 路線バスが通れない、
住宅地や狭い道も通
れるように小回りの利く小さ
いバスなんだよ。





Q. 車両のデザインは
どうして数字なの？

A. 0歳の乳児から、99歳を超える高齢者まで幅広い世代に乗ってほしいという願いを込めて、0～9のカラフルな数字を車両全体に大きく描いてるんだよ。つい乗りたくなるような楽しいデザインにしたんだ。

未就学児は
無料だよ！



Q. どうして大人も
子どもも運賃が
100円なの？

A. みんなで支えるコンセ
プトなので、シンプル
に分かりやすく、大人も子ども
もみんな同じ金額にしたんだ。

Q. どうして傘を
置いているの？

A. 急な雨の時にお客さま
に使ってもらえるよう、
寄付してもらった傘を置いてい
るんだよ。

借りた傘は、次に
ムーバスに乗る時
に返却してね。



小学2年生
わたるくん



これで
ムーバス
博士だよ！

Q. 路線バスと
違うところは？

A. コミュニティ
ボードで地域
のイベント情報などを
掲載しているよ。

A. 全席優先席な
んだ。席を必
要としている人がいた
ら譲ってあげてね。



座席にも
ムーバスが！

1 出勤

まずは運転免許証を提示し、設置されているカメラで顔を写して運転士本人であることを確認。ストローで検査器に息を吐いてアルコールチェックをします。お客さんを乗せる責任ある仕事なので、チェックは厳格に。



いつものまちを、安全に

— 運転席から支える毎日 —



日々変わらず、市民を運んでくれるムーバス。ムーバスが安全に運行できるのは、運転士さんたちがいろいろと心を配って運転してくれるから。そんな運転士さんの乗務の様子を、運転席から見えるまちの風景を拾いつつ、追いかけてみました。

2 乗車前点呼

バスに乗務する前に、これから乗るバスの車体ナンバーと走るルートを確認。運転時に気を付けなければいけない、お客さんの安全を確認することや、ドアの開閉に注意することなどのチェック項目を読み上げます。



3 出発

お客さんにとって安全で優しい運転になるよう心掛けながら運転します。ムーバスは比較的高齢者の利用が多いので、車内の状況やお客さんの動向を確認しながら、お客さんに負担のかからない運転で目的地まで運行します。



4 車椅子利用者を補助

車椅子の方がムーバスを利用する際には乗降時のサポートをします。車椅子のまま乗車できるようにスロープを設置。所定の座席を跳ね上げたところに、車止めと横転防止用のベルトで車椅子を固定して安全を確保します。



Zoom up



お願い

ムーバスを安全・安全に運行するように細心の注意を払っていますが、狭い道を走ることも多く、飛び出しなどの不慮の事態に遭遇することもあります。バスに乗っている間はご自身の安全を確保するように留意してください。

6 運転士さんのお気に入り風景

境西循環や境・東小金井線を走ると、見通しの良い直線道路の片側に高さそろったイチョウの木が等間隔で並ぶ様子が目に飛び込んできます。葉が黄色に色づく秋はもちろん、緑の葉が生い茂る頃に通っても気分爽快に。



この道に差し掛かると、いつも気持ちが晴れ晴れます！

8 休憩

1日で一番リラックスする時間。仲間と雑談したり、本を読んだり、場合によっては仮眠をとることもできます。休憩時間にしっかりリフレッシュすることで、次の乗務も緊張感を持ってハンドルを握ることができます。



運転が好きな方・興味がある方
ぜひ一緒に働きませんか？



運転士募集

5 狭い道もスイスイ

幅が5m程度しかないような狭い道路でもムーバスなら通行できるので、大型の路線バスが走れないような場所もカバーしています。路上駐車などがあると通れなくなってしまうので、営業所に連絡して対応することも！



道幅スレスレでもぶつからずに運転してすごい！

7 運転士交代

運転士が交代するタイミングでは、工事している箇所など走行するのに注意が必要な場所や、イベントで利用者が多いなどといった、道路や利用者の状況を申し送りして情報を共有します。



優しい運転のムーバスに
また乗りたい！



小田急バス武蔵境営業所長
内藤圭介さん

今日も走っています

— 運転士が会ったムーバスのまち —

武蔵野市のまちをムーバスが走って30年。

その間に、お客さんもまちの様子も少しずつ変わってきました。

長年ムーバスを運行し変化を見届けてきた2人の運転士が、

利用者への思いや、ムーバスを取り巻く環境についての思いを語りました。

ムーバスの利用者は 優しい方が多い

内藤 私は車や運転が好きだったからバスの運転士になったんだけど、服部さんはどうしてバスの運転士になったの？

服部 バスの運転士になる前に、トラックで荷物を運んでいたんです。ある日、バスの運転士だった7歳年上の兄が「お前もやってみたら？」と声を掛けてくれたことをきっかけに、バスの運転士に転身しました。
内藤 バスの運転士とトラックの運転手とで一番大きな違いは何だった？

服部 「物」を扱う仕事から「人」と向き合う仕事になったのが一番の違いだと思います。お客さまに親切にしてお褒めの言葉をもらった時は、やっぱりとてもうれしいですね。ムーバスを運転するようになって20年近くになりますが、特にムーバス



を利用するお客さまは運転士に対して優しい方が多いように感じます。

内藤 確かにそうだね。

服部 降りる時に「ありがとうございました」って声を掛けてくれるお客さまが圧倒的に多いんですよ。ムーバスは路線バスが通らない地域を走るの、ありがたみを感じてくださっているのかなと推測しています。

内藤 「ありがとう」って言われるのが、やっぱり一番の励みになるよね。コミュニティバスに限らないけ

ムーバス30周年 記念イベント

11月26日(水) ※雨天実施
午後1時～4時

コピス吉祥寺ふれあいデッキ こもれび

地域に愛されて30年。ムーバスの節目を皆さんと一緒にお祝いするイベントを開催します。子どもから大人まで、ぜひご参加ください。

Pick up 1 EVバスの展示 (乗車体験)



11月26日から1号路線(吉祥寺東循環)で運行するEV(電気)バスを展示します。

Pick up 2 デザインマンホール展示



ムーバスのイラストが描かれた^{いもの}鑄物のデザインマンホールを展示します。

Pick up 3 ロゲットカードの配布



当日の
お楽しみ！

日本全国の観光スポットをコレクションできるロゲットカードを限定で配布します。

このほかにも、多彩な企画をご用意しています。多くの皆様のご来場を心からお待ちしています。



れど、バスって通勤や通学時に家を出たら最初に乗る、または職場や目的地に着く時に使う乗り物ですよね。だから運転士たちはみんな、自分たちが丁寧な対応をすることで、お客さまが気持ち良く一日のスタートが切れるようにと願って運転しています。

30年で変化してきた ムーバスを取り巻く環境

服部 ムーバスに勤務し始めた当時は、通勤通学のお客さまが圧倒的に多かったけれど、それから年月がたつて様子が変化してきたと思います。以前は、雨が降ると境南西循環の富士見商店街の辺りで人が乗り切れないくらいになったものですが、今は通勤客の方がだいぶ少なくなりました。一方で、武蔵野赤十字病院のオープン時間に合わせて大勢乗って来られるようにもなりましたね。

内藤 変化といえば、私たち運転士がどんどん高齢化してきているよね。

人手不足が大変で、以前はできていた仕事が増えたりできなかったというところも増えてきました。私が若い頃は、車が好き、乗り物が好きという人たちがたくさん入社したけれど、今の若い人たちはあまりそんなふうには思わないようで、運転士のなり手が少なくなって困っています。

服部 あと最近は気象が激しく変化するので、大雨の時や暑さがひどい時には非常に混み合って定時運行に支障が出ることもあります。

内藤 安全運行のためにも時間に余裕を持って利用していただければと思います。

服部 お客さまの安全については細心の注意を払うように心掛けています。

す。ですが、まちなかの道路を走行するバスは、鉄道よりも頻繁にイレギュラーなことに遭遇してしまいがちです。そのため、お客さまご自身での車内での安全確保——つかまる、座る、バスが停止してから移動する——ということについては常に気を付けていただきたいと思います。

内藤 ムーバスを取り巻く環境が大きく変わっていく中で、これからも市民の皆さんにとって便利なムーバスであるために、ムーバス自体も変化していく必要があるかもしれません。市や会社などと協議しながら、時代に合わせたより良いムーバスをこれからも運行していきたいと思っています。